



門本加2
545

たきゆりもの序

紫雲寺の五石記

何れも信より其法にん

了取寂不取しと贊

二の字も半りつとたし

了ぬあがるるを拜まける

か此心つらるるをい

か志乃又いふをい

しのみむきとて其の

うち城をまきぬきし

白雲、いふ字より

れとよかふと保乃園を

本形しとて

のも教ふよりておのりも
 こゝろのひま母矣奈祇は
 又世保ふと里たまま事しに
 かい法ゆる候字よりいふ末
 何ふまおのつゝ乃とわり
 ちる文やはし調平なれぬ
 扇好の大免よ書法けはゆる
 ぬりけるまいかくよそふ類
 涙うのいせ乃とて世界傳へ
 て々世保の人平して地あや
 おりまあつゝ平とて平な矣
 又ふまのし中あや二年月の

附言

○是まで世ふりのまゝるかまづうひも
 皆おどろをのみあらそいおたを
 どそもはたせこむらにりてさう
 りとせんも目乃いとほたへぐ
 おほゆれどそらにおおえんこと
 まし七程かこくめんをけも故此書ハ
 二あつりのハその一をともふきてこれを
 左を以て則る外上皆いとまらに
 がごとしその條々の行をるをまき
 まふべし法もゆるれも程りれたるの
 あらば同類によりてまらべし
 ○此書ハ真字假字共ふ。古事記
 ○日本紀。續日本紀。續日本後
 紀。續紀宣命。延喜式。式祝詞
 ○三代實錄。文德實錄。江次第
 ○新撰字鏡。和名抄。古本風俗
 哥。古本催馬樂。古本神樂哥。
 竟宴哥。出雲風土記。豊後風土
 記。古伊勢物語。枕冊子。万葉
 集。新撰万葉集。古今集。拾遺
 集。後拾遺集。佛足石哥等。古
 書をてらしあのせて悉誤とも
 たがし自の考をも添て出は免
 みらるがゆゑに古書ふかるのえ
 えざるハこれと通ハしてまじ

はたいまごらんおしよぶるこり
 ごとく流たしうらねども用とを
 だかいらにうくのどあらしね
 ありあわれご今風を好人のたえ
 近世小用る假字をかたつしよ
 程の類のよぶけら古かきに違ふ今
 かまをばを部毎の後あま字の左右
 へ假字を加へてあえら
 ○同事を二三所にあまハ疑しとあも
 ぼゆる假字毎にまゝ記さざしめと
 えてあまたつひびきたるなり
 ○字音の類ハあまら
 ○郡郷乃名の類もあまらびあま俗
 出るらつせらかありてま字の例
 もよらざるが内名なり和名抄
 りてままらあべまてなりやうの
 類ハ字にそわつる方こそたしけ
 俗言に遠ひる雅言ハ已別よら
 く考ふる所りのあまらまてまま
 べー初ふ五十連音とあまら何等の
 通ひまらとあまを初んのりのま
 さしとらんがたえなり
 ○まて初んのりのたえまらまら
 毎にいろはてま長あのと並をま
 辞少を先こしてあませりまら
 こらとあませよ

い **お** **ひ** 之部 一のひ

上 **お** **中** **お** 同

下 **お** **お** **ひ** 二のひ

中 **い** 二のひ

下 **い** 五のひ

ろ **ら** 之部 六のひ

中 **ろ** 同

は **ほ** 之部 同

上 **は** 同

中 **は** 七のひ

は **わ** 之部 同

中 **わ** 同

下 **わ** 八のひ

下 **わ** 八のひ

へえゑ之部 九のひ

上え中え 同

下え 十のひ

中え下え 十一のひ

こたた之部 十二のひ

上た 同

中た 十四のひ

ぢぢ之部 同

中ぢ 同

下ぢ 十五のひ

ほをおお之部 十七のひ

上を 同

上あ中を 十八のひ

下を 十九のひ

中お 十九のひ

中ほ 十九のひ

下ほ 十九のひ

かこ之部 十九のひ

上か中か 同

よやえゑ之部 十九のひ

上や上え 同

そさ之部 同

上さ 同

中さ 十九のひ

ぶび之部 同

中び 同

下 **ぢ**

三千のり

ぢの之部

同

中 **ぢ**

同

ぢの之部

三千のり

中 **ぢ**

同

下 **ぢ**

三千のり

ぢの之部

同

上 **ぢ**

同

中 **ぢ**

三千のり

ぢの之部

同

中 **ぢ**

同

下 **ぢ**

三千のり

ぢの之部

同

上 **ぢ** 中 **ぢ**

同

ぢの之部

三千のり

上 **ぢ**

同

ぢの之部

同

下 **ぢ**

同

五十連音

いとわの行よををとあ乃
行ふをの語より契沖魚夫
そもに此語依まぬくま次

あいうわ
かきくけこ
さしすせそ
たちつてと
なにぬの
はひふへほ
まみむめも
やいゆよ
らりるれろ
わをうゑと
玉乃小理今

い

お

ひ

上る

いゝの上に有てうちつけ小まざ
るかたをの初とよく覚え
て餘は皆いのかまこと知べし
ひの中下にあるのみまうひて
上にあるはまをいひの下
にふをいひにまがふ
るり別ふ別わり

い外上皆い

ゐ

同

ゐぬる

ゐる

ゐる

ゐのこ

ゐのあ

ゐのくき草るり

い五に屬
皆のむき
居儀
蘭井

郵ふ似て
大なるもの
蝙蝠

いきのねの墨之絲
公寐にて異なり
率宿

船沙につきて
ぬを子
般

田舎
田居中
田居中畧

豕

織襖

猪魁

上る中る

ののつら 草多り 牛膝

おぐひ 今ぐひ 堰 堰

おやび おやまひに
うやまひに同 禮

おまちき 明石冠辞之万葉
三旅のちどき 座待月

おてゆく おひきおの
畧多り 率往

おさつ 農具之 耒底

おぐ 井ガリ
居去之 膝行

おさらい 坐處
尾孔多り 醫

おもと 井の中より出 蛸 蛸

おせき 以土逼水之 堰埭

印南野 いなんの
今南野

お 外中
下皆ひ

お 齒傷
醉之 斬

お 下

く 獸多り 野猪

く 遠
冠辞之 如雲居

く 浅
冠辞之 紅之

ま まの
参之入略
まの
系来之
今参入 参入

水雞 くひな 拙 くひせ 瘤 あひま 椎柴 あひま

下 **お**

い 家居

こ トリ井
多居之 神門

この 殿居
侍宿
今この
今この 宿直

か ほ
ひび
今か 乞兒

か カ
ツ
井 桔槔

下 **お**

なる 地震又地動

なまる 水草之 澤寫

うる 童ワカミの髪と重ヌル之 髻カミ髪

おほる 宦名也 大炊

同 草クサのひりヒリにニモ 莞ベシのシあり

くらる 座居クラ之 位

くらる 水草之 鳥ス芋慈姑

くもる 雲クモをのみミも 遠トホきトホしシも 雲井

くはる 呉ク藍ハ之 紅

まよる 参マ入ヨらラてテまマあアらラせセばバ甘カン小コ餅ヒョウあり 参

まよる 眼メ皮ヒ之ノ眼メ氣キ之シ 眼居

あゐる 漆草之 藍

あゐる 草あり 蓋草

あぢる 紫陽花

あはる 潮騒

ひふる 率

しごる 本居モト之 基

械ウ 櫟イ 菘ム 新ニ

初夜ハツ 籠カゴ 吹飯フキ 鱒マス

旨メ 強カ 餅モチ

中ナカ 下に有アてテいイふフはハたタらラくク

中ナカ 類ルイ之シ 月立ツキ 刃也ヤ

早馬ハヤウマ 驛ヤク

中ナカ 早馬ハヤウマ 驛ヤク

中ナカ 早馬ハヤウマ 驛ヤク

く、いたう くたがわり 鷓

く、むみ 膠漆具之 掃墨

けい、いひ かきいもよ 糒ス頭

かい、ち 洗草河安草 黄草

かい、か 肩下 胛

か、い、いひ 乾飯 餉

▲かい、まみ 視屏

▲かい、ごう 取

か、か、ま、あ、い、び 半熟飯 修食饋

たい、い 常言たきり 舩

を、い、で 續連つれの約 次

を、い、か 築墻 築墻

を、い、む もろ丸食 味

を、い、たち 月立也 朔

を、い、た、で つきたて 衝立

を、い、ま、り 牛病 蹄躡

は、い、み、い、ね 草 白英

を、い、が、ま、ろ 空之代 蔑

の、い、ま、み 瘡 肉刺

お、い、て 上 於

お、い、く、け 冠 綏

お、い、その、り 近江蒲生郡 奥石杜

お、い、の、り 馳射 馳射

お、い、ば、い、ん 小央 大央

お、い、は、い、い 職名 大辨

おほいさうぢみ官色 大臣

おほいさま子つぎ 同 参議

おほいまつらつぎ 同 大政官

くりのいさ 栗刺

やいむ 焼刃 刃

やいぶー 炙肉具 串練

やいぶさ 火田火田今の 燂燂今の字燂今を合合れ 膠

やいづこ 奴

やまいた 厨具 楊篁

ふいぐく 吹革 鞆

さいとひ 常言常言今を合合れ 幸又福

さいだて 征戦具 戲射

さいざち 工匠具 柎

さいぶさ 氏之郡有 三枝

さざれり 細石

きぬいた 老にきたし 砧

いみり 射

ひいづ 穂出穂出今の指指今く 秀

たまのまじ 鐵名 少納言

少ちひさ卵かひて 終つひに 用もち 今もちちうらる

かい 舟具 櫂

むくい 報

おひい 老

く 悔

下かい

くまのい 熊膽

今か 茶草あり 人參

まい 馬牛 烏牛

こしい 冷

あさい 俗にいふ 朝寢

あひい 相生あり 相老

まゝい 紀伊

まゝい 馬具 鞞

もい 透垣 萌

あまひ 負 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

あまひ 額 禁厭

おごう

衰劣上同

まろう

人に順とて不順を
まろくぬ下よ

随順

ふくろ

梟又鴞

ひろ

拾

は

下にふるかなとほてひくのみま
ぐよんらうごうと毎々一とを
けどもほらうごうと則とごう
わふりいもいもひ法師ハ
ほらうごう

上は

以外中皆ほ

もろ

放と延て

葬

くさ

草の

延

同

伏ておくる
くさよもよ

匍匐

同

虫の

蚊行

くま

不絶のや速長ノ
冠辞ノ

延蔓

くま

延蔓ノ
冠辞ノ

延蘿

くま

祝

中

い

祝又齋

ふ

賑

ま

喚

た

貯

な

神ノ冠辞ノ善神
にノ悪神にも
ちちやぶら

靈幸

つ

岩ノ冠辞あり
はたふ思ト
ゆえ

蘿這

た

強え

奪

く

言のまこと

加

あ

味

さ

いん

幸

中

中

は 中下にあつたのみまが之上ま、
まが代は、多にして、
わ わとよく覚えて、
假字、
假字、
假字、

中 外神皆は

い、
弱

くらした
又たのれ皆
わのりま

くにり
一月のうち十五日
男十五日女

たこがき
歴齒

かこく
又燥
乾

人こり
又柔
弱

たこむ
たこむ
念皆同

たこやえ
今
婦人

うらうら
うらうら
うらうら

のこき
又
暴風

おまこり
又
豚

くこね
ぬ
烏芋

またり
壁中、横帯、
間渡、
壁帯

ことり
言割、
今
理

こつり
え
欸

あてて
あ
惶急

あてて
今
沫雪

あてて
食塩、
白鹽

さこが
さ
騷

さこらび
早蕨

みづのあ
冠辞、
水沫之

みづのあ
冠辞、
蜷腸之

あてて
肌膚肉、
腠

下

とてころる

とてころるをいふ

居

下

かくのあこ

江家次才の父繼略本和名抄加多安波有去字假字こもいよ考

結果

うらうらこ

磯の字。隈。里。同。裙。木。廻。ハ。皆。浦。廻。

うらうらこ

鞍馬具之 疾藜銜

おののつこ

草。の。終。委。 牛膝

おほこ

輪郭曲木之 輜

つこ

馬具之 轡

まよこ

貝之 石炎螺

あこ

樹石落俗云 沫泡

あのおこ

樹石落俗云 硫黄

みこ

醸。器。略。酒。醸。器。を。も。り。又。三。輪。大。和。有。 酒

あこ

今。た。こ。 皴

あこ

か。た。も。今。か。た。こ。 殘廢篤

へ へ。か。な。ハ。中。下。に。あ。る。の。み。ま。く。あ。れ。は。い。ふ。へ。ほ。い。か。り。て。糸。へ。則。生。も。ひ。軽。さ。り。

あこ

あ 外。上。皆。え。

あこ

繪。訓。小。意。 繪

あこ

同 餌

あこ

今。た。こ。 槐

あこ

牛。馬。の。肉。と。丸。を。ふ。餌。の。義。故。多。し。屠。兒。の。と。も。字。釋。多。し。持。れ。 屠兒

あこ

承。ハ。お。の。こ。ん。か。ち。なり。え。の。こ。に。ハ。あ。ら。い。 犬

あこ

狗尾草

あこ

今。た。こ。用。 刻く 彫

上 中 下

えがほ 咲顔

えをき 出氣息トモ子呻唳

えらき 悦トモ子唳大ハチ子

えむ 咲トモ子唳まひみ子

えぐ 菜トモ子歌トモ子鳥羊トモ子

えくぼ 人笑時ホニラズル頰見也 靨

えぐー 味トモ子俗トモ子醜

えみ 草トモ子黄精トモ子

えみつき 草 女葳蕤

えト 衛士

えい 酒トモ子醉

中え 外中下皆へ 微笑

かぐえり 曲トモ子鏝

よえや 縦哉トモ子

つえたらぬ 丈不足トモ子

くえそら等 整散トモ子

あえしや 妍哉トモ子

あかえん 赤卒トモ子

こえん 胡梨トモ子

ええや 縦哉トモ子

ええもの瓦器 陶

下え 礎

いぞえ 柱下石トモ子

こもえ 靨トモ子繪

かせづえ 鹿杖トモ子

下え

たなほしゑ 手糸之 手端又手子

たなほし今えナモ用 杖又

たなほし今えナモ用 机今書案の具とのみ 之り古飲食具

たなほし今えナモ用 殖うららトモ草本を 植ふこと終委

洞今えナモ用 飢イヒ 飢イヒ

こぞゑ 聲

こぞゑ 梢

こぞゑスキタガヒ 鏝今えナモ用 鏝スキタガヒ

洞今えナモ用 故

洞今えナモ用 湯坐

ひこゑ 失聲

洞今えナモ用 末

洞今えナモ用 假髮カサトモ

洞今えナモ用 居

執今えナモ用 行方今えナモ用

中今えナモ用 愈ハハ 愈ハハ

ふゑる又乳 獸又乳

ぬえ又乳 鷓又乳

ぬえ又乳 萎草之

をだ又乳 緒絶橋

まま又乳 荊

う又乳 瘼卧

あ又乳 寒

あ又乳 物又乳

あ又乳 左佐良又乳

中又乳 下又乳

ひえごり あじふまき 鶉

もえぎ 色草木の葉 萌黄

いへい 火の木の 燼

蹇 さのろく 道祖 今まなく 今まのろく

下え

いへん 痛止 愈

いへえ 堀江玉江小 皆いへえあり 入江

いごえ 馬まぐいごえ いかくしモイゴ 嘶

いぬえ 草 香葉

いんごえ いんくやす いくくや 岩崩

いんえ 草木の 生

同 チカヤ 芽始生之 美

銅へ 漢之似銅白也 艶

銅 銅へ 映

にえ 熟 煮

ほづえ ほづえ書 誤なり 末枝

ぬえ ぬえこりトモイ 鶉

どのえ 斧柄 松

からえ 草 草麻

かもえ 屋具之依が居 鴨柄

たご 絶

そびえ 聳

つひえ つへえ書 誤なり 費

ちがえ 車具 轆

のらえ 野苳 蕪

のびこえ イナゴ 喉笛 イナゴ 各門 イナゴ 之 イナゴ 吮

おほえ イナゴ おしほ イナゴ 出 イナゴ 覺

おびえ イナゴ 愕然

おしほえ イナゴ 所思

くえ イナゴ 崩

ふえ イナゴ 笛 吹可愛、云、
たらのふえ、大角、可戰具、
くたふえ、小角

こえ イナゴ 越 今名、マモ用

同 今名、マモ用 肥

あえ イナゴ 肖 あやうとあやう
もの、ソノ、同

あごえ イナゴ 距 鶏、雞、脛、有、岐

あといえ イナゴ 竹刀 以、竹、刀、剪、金、銀、
簿、云

さえ イナゴ 互 寒、云

さぐえ イナゴ 榮螺子 さぐえ、イナゴ、
さぐえ、イナゴ

さそえ イナゴ 捲 孟、類

さえ イナゴ 消 月、さ、さ、く、
消、さ、さ、く、
消、さ、さ、く、

さこえ イナゴ 所聞 十、幹、
け、皆、
十、幹、
け、皆、

さのえ イナゴ 甲 十、幹、
け、皆、
十、幹、
け、皆、

みえ イナゴ 所見

さるえ イナゴ 萎

さづえ イナゴ 下枝 下、枝、
下、枝、
下、枝、

ひえ イナゴ 日吉 吉、古、訓、
ひ、よ、
吉、古、訓、
ひ、よ、

同 イナゴ 稗 似、
似、
似、

ひこえ イナゴ 抄 ホ、
ホ、
ホ、

ひこえ イナゴ 藥 斬、
斬、
斬、

もえ イナゴ 萌 草、木、
草、木、
草、木、

上

同 火の 燃

せうのふえ 今老より 簫

とみのえ 按は玉有 古語 日吉系同 住吉

塞 あしき 今ありきえ

た 下にぶらりかきとほてひくのみ まがよく凡かたかてあまべ 則はたよはたひとよひ 類あり

上**た** 以外中皆こ

たうべ 給

たう免 もたらう古語 日本紀 たく免云今老女云 專

たうけ 山の頂 伊勢 とも手祭云

たうのみ祢 多武峰

たう 任も敢も通用 堪

たう 獸死 斃書ハカリ 俗にたうハ吾ハ同 倒

たう 貴

たう たの下のふさき ちいさのふさき 又松 俗に云ふさき 犢鼻褌

中**た**

いたう 痛

たやたふ 猶豫不定

つたふ 傳

うたふ 詠む 歌

こたふ 答

あたふ 與

あはづふ 日冠辞之 天傳

ふたふ 決ときたふ 針

みづたふ 破冠辞之 水傳

志たふ 慕

中**た** 中**ち**

ゆづたよ

磐余池の十鳥
廻の鐸の度會
都賀賀冠辭

百傳

ち

ちんかちのちちうとかかてあへら
おのち則ちちちちち類テたち
つてと通ひとちちつちあなり
鼻入とまへ和語初より
ことばな一斑駒錢とどのれか
あまご後のことちちち

志

中ち

以外中皆ト
下皆ト

かぢのおごの

ツバク
変曲
冠辭

楫音

かぢごのこ木く

賣子木

たぢま

但馬

たまぢま

ホノ冠辭
とと冠辭

靈幸

ねぢけび
捻けり辭

佞人

くぢら

鯨又鯨

けぢえん

分目又結目

ふぢら

蒲葦

ふぢら

蘭

ふぢら

喪服
又間遠冠辭

練

ふぢら

まつら
冠辭

藤麩

ふぢら

引手の引田冠辭
のすりねとちち
つらみ

袈道平

あさぢら

うぢら唱下
す置きり

淺茅生

あさぢら

変曲
冠辭

淺茅原

あぢら

紫陽花

あぢら

味

あぢら

いごこめけさ
ささきんじ
冠辭

味群之

あぢら

先の夜多
冠辭

味多経

あぢら

変曲
味氣

無端

あぢら

あぢら
鴨のれ

味群鳥

ひぢら

眩木く

枅

下ち

ひぢりこ 土和水ツクハ 泥

ひぢりまき 在臂上ヒキウエの 釧

もぢりぞこ せうたうせうたうのちれ 庚摺

もぢりぞの 冠辞本のもの 黄葉キナノハ

下カ

くぢら 耻

こぢら 閉

ちぢら 千

ちぢりひぢら 塵土

とぢら 伯父オヤジ 叔父オヤジ

かぢら 舟具フネモノ 楫

同 木綿コワ 穀

同 金作カネサクリ 鍛人カネツクリ

かぢらふぢら 草茨カサツラ

よぢら 攀

よみぢら 黄泉道ヨミミチ 黄泉道

つひひら 築藩 築藩

糸ぢら 捻

なむぢら 名持ナモチ 汝コト

なまぢら 虫ムシ 虫 虫 虫

うぢら 山城育 宇治

同 氏ミヤ 氏

おぢら 忙怕

おほぢら 祖父オホオヤジ 祖父オホオヤジ 祖父オホオヤジ

おこぢら 父オコ 阿叔

おほぢぢら オホオホチ 曾祖父

おほぢぢぢら 曾祖父

くまぢら クマヂ 隈

やまのかげら 山路閣道 碓道

ふぢら 藤

こひぢら 戀路

同 土和 泥

ことぢら 筭柱

あぢら 味

同 魚

あえぢら 淡路

あさぢら 浅茅

同 大口細鱗魚 斑文魚 鰕魚

さひぢら 魚

みそぢら ヨソトクナ 三十

えぢら 車具 榻

ひぢら 泥 土

同 ぬぐもひぢら 泥漬

同 つげり 臂

ひつぢら 自生稻 穧

もぢら 人赤葉 缺

もみぢら 黄葉 筋

まぢら 筋

ほ ほの上にあらまがば中

を 下にあらまがば

お あ下にふ

あ ひくのみまがば

上を わく外上皆お

を 今お は七のうらに小男雄尾
屬皆と皆之 峯緒草

をろち 遠呂智

をむ 小母之祖母ハ
おむ、かま之 叔母

をむな 今お 又男花 尾花

をむ 終

同 今お 函く 尾張

をむ 又躰 踊

をむ オドリ 雄

同 雄ハ少養人に
るん、よとせむを
わきひく之 媒鳥

をむ 今お 又幼女 少女 又處女

をむ 又幼女 少女 又處女

をむ 前年

をむ 前日

をむ 袖振山 處女等之

をむ 行合 嬖等之

をむ 草之林のま
遠くをれ、前には
羽有な名 赤箭

をむ 橋梁を柱之 憧柄

をむ 伯父 叔父

同 老翁

をむ 草臺

をむ 彼此 遠近

をむ 條

をむ 乎十反

をむ 今お 時合 時々

をふ 居

同 折 今同主折の時の人おれど

をく 唯々 コタ

をか 岡 ちんまき木

をがむ 拜 今お 折屈く

をかー 可咲 今お

をかま 犯 又寝

をかはら 楓

をかづ 茵

をかぐま 苜蓿

をだ 小田

をたけび 雄

をたふえ 緒絶橋 え、終安

をそ 獺 水歎く

同 嘘 偽らふ言をいふ事

をづ 現 偽之悪の事

をむるえ 妾 今お

をうこ 夫 新撰字後をきせ

をの 斧 工匠具

をのへ 尾上 今お

をのえ 秘 え、終安

をのく 悒

をぐる 童男

をけ 麻笥

をけ 桶 今お小桶時を

をけら 朮 をけらの花を咲て

をこ 今お 経廷

をこ 今お 鱒魚

をこ 今お 機具

銅 今お 長

をこ 今お 長身小 麩

をこ 今お 長女長 玄

をこ 今お 專

をこ 今お 專

をこ 今お 長長 々

をこ 今お 長長 々

をこ 今お 官名

をこ 今お 修理職

をこ 今お 萩

をこ 今お 補

をこ 今お 虫屈伸虫 蠟

をこ 今お 女おむろ 女

をこ 今お 娘部色ト 志

をこ 今お 駕鴛鴦

同 食

銅 今お 愛

をこ 今お 教

をこ 今お 韋

をこ 今お 甥

愚 今お 覆

音 今お 劣

棘 今お 弟

弟 今お 劣

驚おどろ 織部おりべ 綺おり 指さし

凡おほ 及およ 愛宕あたご 遲おそ

恐おそ 魘おそ 頂あたま 己おのれ

各々おの／＼ 自おのづか 置お 送おく

後おの 親おや 追お 起おこ

奢おご 發おこ 隱岐おき 熾おこ

除おき 心長河おき 鼠お 押お

啞おん 晚稻おん 襲立哉おん 追風おん

帶おび 切排お 重お 侍從お

趣おもむ
今このむき時とぞ
下にふり仮字とほひくのみ
まよふく凡のうてあべ
則おひ類

あぢあぢ 棟たて

あふあふ 逢あひ

あふあふ 切き

同どう 仰あが

あふあふ 近江おうみ

あふあふ 葵あひ

中ちゆう
中をなみのうち
お外中皆ほ
但全おまふ
ほにまをのえ
あにまをのえ
ひはまはまはまは

上じゆう 中ちゆう 免めん 肱うで

いをまき 草ノ 商陸

むせをむ 草ノ物名可詠
字音古今集心
せと久はそつ有 芭蕉

こころく たまトモよ 撓

こころをさう 鶴鴿

こころをさう 俳優

かをろく 香氣ノ 薰

かつをじり 小虫乱 蠓

かたをまみ をてにどまれ
信男浪とおし
人のあにそる人 溷乎無

かこまざう 賽

よをろり 六月晦日事有
事式子奉た上 節折

よちをさう を上をさう
條安 鮒

たをつと 草ホをみて
今お折を上委 手折

同 山の大と多る
ちたより多武
無二七山多

たをさく 今お 田長

たをやり 婀娜

たをやえ 今お 婦人

たまのまみ 長ノ短ノ絶ノ不絶
乱ノ間ノ歩冠辞 玉緒乃

つらをり 葛折つら
鞭草折は列 九折

うみをす 長ノ冠辞 如續麻

うちたをり 冠辞 株手折

おほをぢ ぢ 從祖

おとをぢ 同 阿叔

おほをす 籬冠辞 大魚哉

おほをぢ ぢ 族父

おほいのみ まをす
ま 参議

くちをす 朽惜

やをら 弱字にてやをら 和

まをす く 日

ますらの 手纏冠辞 正荒雄

まをす 執務司射中當 司格

えをぢ 父兄 阿伯

てをの 工匠具 鉦

あをど 青礪 礪礪

あを 襖

あをぢ 蜚蛉

あをのり 海草 陟隆

あをひえ え終委 竹刀

あまをぶ 泊瀬冠辞 海小船

あをば 平城冠辞 彌百真志

あをぶ 白冠辞 青雲

あをやぎ 鬘冠辞 青楊

あをみ 依網冠辞 青角髮

あをむ 襲冠辞 青藩

あをひ 言人民 蒼生

さを 牡鹿

さくら 片原冠辞 櫻麻

さ 松蘿

さ 左佐良榎草

み 水脉戴 濤標

み 青白雜毛馬 駟馬

ま 草木澗 萎

ひ 朝生暮死虫 蛸

下を

寸さしのまじいびき安 少納言

駒こま 等閑らうかん 障泥あぶり 曉起あけぼの

競まじり 太山下風みやまじろ 今あきり

下したを

いさぎを 功勳こうこん

くろりを 針魚はりうなぎ

こを 十と

こびを 兎うさぎ 又また 鯉こい

こいのを 年緒としつづ

かつを 今松兎いままつうさぎ 堅魚かたうなぎ

からぎを 打穀具うちこくぐ 辻柳つじやなぎ

たぐれを 風流士ふうりゅうし

たまのを 玉緒たまお

そのを 園生うゑうま 園尾うゑび

うを 魚うま

うを 今いまの丈だけ 後夫あとむ

うらを 麗麻うらま

おほを 條じょう

ますらを 丈夫ますら

ここのを 絃げん

あを 青あお

あを 又また 攀か

あを 舟具ふねぐ

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

あを 水脈みづな 又また 脈みづな

えろを 奥く 鮎

えたを ともともしき 前夫

えづのを 今おろし用 賤男

ひを 氷魚

ひたを 頓丘

むさのを 神号く 素鷲鳴

垣面 かきほ 猶 まほ 直 まほ 醢 あびし

醬醢 今ひいお

中お

いふおはせり 稔負鳥

えたおえ 虫之俗語 促織

えかあお 今にともいおも 權衡

ちお 免のこして 乳母

かみおつ 免をせよ 霹靂

かぢの 冠辞く 楫音

かみお 草かまき 苦菜

な 名におつ 名負

む 今オスキ 杆麵杖

う 衣上副く 褊

お オホホ 曾祖母

お おほ 曾祖父

お おほ 拇

お おほ 魯

く 蕪、和名抄 興葉

中お

そほ祢 赤赤緒緒 緒舟

そほそほあえ 細降雨

そほそほ 欄欄 又直衣

こほり 氷

同 郡

こほ祢 菜類 温菘

こほこほ 蟋蟀

今今ほほ 廻廻 又種

銅銅 器具 旋子

もほもほ 催

下下

ほほ 頰

ほほのほは 焔

おほおほ 大

ままほまほ 間遠

かか 下下ににふふ。假字と係てひくみ

ここまこまへへららくく凡凡かかううハ

上上 **か** 外外中中皆皆こ

かうかうべべ 首

かうかうばばり 馨

かうかうざざり 蒙

同 冠

かうかうぐぐ 考

かかふ 飼

同 買

上上 **か** 中中 **か**

かこ 螢

かれ 替又更

かち 河内

中か

いさかよ 諍

ちかよ 誓

ちかよかき 婦人喪冠 悵

たごよ 違

たごよ 戦

つごよ 仕

つごよ 番ツギアツ

糸ごよ 願

ひごよ 向又

うごぬ 窺又

うたごよ 疑

うひがう今 初位

おまか今 田舎の熟安 畧人

おほくち 氏人 大河内

おほくち 同氏今 凡河内

まごよ 紛

あごよ 贖

あつよ 傷熱 喝

やごよ 往反

みにかよ 身代

まごよ 順又

争あつごよ
今あつごよ
上あ 上あ 上あ

よ 下にふ。し。假字と係てひく
のみまがよ。え。下。ふ。う。か。み
と係てひく。ハ。字音にありて
和訓に。な。け。ま。ご。も。ひ。き。ま。を
あ。ら。く。と。て。ま。が。よ。が。や。に。効。み
あ。ら。く。と。て

上や や。外。上。中。皆。よ

やうり ハ許日。か。日。に
あつ。と。か。よ。ハ。誤。の
か。に。つ。て。ま。て。不
河。に。や。う。り。目。云 八日

やうく モト。本。や。く。具。や。ヲ
延。た。く。や。う。や
く。ト。モ。イ。フ 漸

上忍

えり 酒。に。ま。よ。く 醉

そ 下にふ。う。か。ま。と。係。て。ひ。く。み
ま。が。よ。う。う。て。あ。ま。べ。則
さ。う。が。ま。く。ぶ。び。く。を。よ
そ。ひ。れ。く

上さ い。外。上。中。皆。そ

さうり 寂

さうり 障

中さ

かくふ こ。ふ。ゆ。ゆ。と。て
か。く。ふ 隠

たづふ 携

まづふ ま。づ。む。同。踏
ま。づ。ふ。訓 煩

おほいさふ い。さ。ふ 大央

くさふ 虫く 蛸

づ 左にまがよかあ。い。う。ち。う。ご。り。て
あ。へ。ら。う。も。有。則。ま。ず。ら。あ。ま。を
ら。ひ。か。す。か。も。あ。お。さ。せ。そ。
通。い。ま。づ。は。も。ち。た。ち。つ。て。も。ん
通。の。い。ず。れ。を。清。く。あ。ら。う。

中せ い。外。中。皆。づ

いせむ い。せ。む 礎

いせむ 伊。勢。五。音 五十鈴川

いせむ い。せ。む 掃墨

中さ **中せ**

たすくむの たすくむの 延羅

孫ぞみ 長き冠 鼠

孫ぞみ 孫ぞみ 棟

なすらふ 准

うすまり うすまり 蹲

まゆずみ 画眉 黛

こむとゑ くも 梢

さすみの 冠 指墨

みむかり 信濃 真鶯

ひむと 伊勢物語 麿尾菜

もちどり ちどり 戾摺

とら 不覺

とら 雀

とら 硯

とら 鈴 鱸

とら 涼

とら 数算

下 ど

かむ 必 數

かむ 不 必

くむ 著冠者 髻華

のむ 神代蓑 野篤

くむ 葛

やむ 箭 箬

あむ 不堪

こむ 疵

下 ど 中 ちゆう

ゆんぎ 弓未多り
あみくす 弭

みぎ 蚯又蚯又蚯

ゑにぎ 名之安 槐

もぎ 鶇又鶇

もたぎ やそのやすのやま
いりくさのころも
冠辭之辞之 百不足

まぎ 錫鈴

な 下にふかるとほてひくみ
まぶくさうて毎六へい

の 則ふかふふひそのふ
ここのひれ

中 イ外中皆の

いざる 誘

みる 荷又擔又辭之

こちる 唱

こもる 伴

かゝる 叶

そゝる 備

そこる 弊 傷之残之

うさる 失

うらる ト合ウラナラ

やゝる 行

まらる 擬又餽

まよる 禁厭 虫益物之

あさる 商

えさる 所垂

む もぎるむふりふまらるむトモ
むトモ云々ハまきふまむむむ
はびふへばト通ふけぢうぢけむ
アトよむとらふハむぢぢぢぢぢぢぢ
りトモ云々

ふ

中

中 **ふ** 外中下皆い

くろぞう くろぞう 委 葬

とよら とよら 問と延る借へ 訪

ちづり ちづり 委 愴

かたが かたが 頎

かう かう 蒙

同 冠

かた かた 蝸牛 又輸

たぐ たぐ 戲

孫 孫 眠

孫 孫 合歡木

い い 初位

け け 煙 又烟

さ さ 侍 又同

下 **ふ**

か か 悲

た た 樂

う う 浮

く く 苦

え え 撰 又撰

ま ま 荒

む む 荒

ろ ろ 荒

上 **う** 外上皆い

下 **あ** 上

風雨木の聲とらうけ外
人も約木にノムも
不愛之口をさます
さみ慰まらう

むう上にありてはまの免
むも字へうこれむうトモに
ロとふたごてくぬれ友ふ
まがよありけ五へうけがら
はがむべ

燐 ヨシ びたきト
烟 イシ 痛

孫 む トモノト
孫 ね ト書
たるハ

こま ね びり
書 た らる
俗 孫 ぶ

うまはら
今むら
訓

うまはら
今むら
奪

うまはら
今むら
諾

うまはら
今むら
郁子

うまはら
今むら
馬

うまはら
今むら
牧

うまはら
今むら
産

うまはら
今むら
孫

うまはら
今むら
可美

うまはら
今むら
貴人

うまはら
今むら
典馬

うまはら
今むら
馬杷

うまはら
今むら
馬覓

うまはら
今むら
梅

うまはら
今むら
裕

中

うまはら
今むら
駿馬

うまはら
今むら
驚馬

うまはら
今むら
驄馬

うまはら
今むら
中下には有る。あわく。ひみ。むの。名。ど。ホの音使。ある。あに。文章。不。書。ど。おに。よ。ま。ぬ。も。あり。右。方。と。今。し。七。毎。べ。た。か。あ。た。く。免。く。ら。う。ご。く。ら。び。と。た。う。げ。た。む。け。ま。う。の。ほ。ら。ま。あ。の。む。う。う。あ。ま。う。す。ま。ま。を。守。新。和。流。ん。を。ね。る。細。き。み。む。あ。あ。の。か。ふ。う。て。唱。あ。ん。音。使。小。か。引。ま。え。う。ら。ん。な。ご。て。ふ。を。さ。し。

うまはら
今むら
中下

うまはら
今むら
外中

中

いしごし 女子の後主をいふ 姉

いしごし 女子の後主をいふ 妻の姉をいふ

いしごし 女子の後主をいふ 姨

いしごし 女子の後主をいふ 葬

いしごし 女子の後主をいふ 玄蕃寮

いしごし 女子の後主をいふ 幟

いしごし 女子の後主をいふ 夫

いしごし 女子の後主をいふ 首

いしごし 女子の後主をいふ 馨

いしごし 女子の後主をいふ 考

いしごし 女子の後主をいふ 賽

いしごし 女子の後主をいふ 給

いしごし 女子の後主をいふ 専

いしごし 女子の後主をいふ 筭

いしごし 女子の後主をいふ 多武峯

いしごし 女子の後主をいふ 初位

いしごし 女子の後主をいふ 田舎人

いしごし 女子の後主をいふ 弟

いしごし 女子の後主をいふ 大央

いしごし 女子の後主をいふ 大臣

いしごし 女子の後主をいふ 参議

いしごし 女子の後主をいふ 藏人

いしごし 女子の後主をいふ 蛸螻

いしごし 女子の後主をいふ 八日

いしごし 女子の後主をいふ 洋

まうび 糸出之 詰

まうす せうと 委 日

まうけ 副儲君も係乞 俗まうけは実之逆 儲

まらうご 稀人々 客

まうのぼる 恭昇

まうちぎみ 大夫

ましまりしをせうと 委 司格

こまうご 高麗

こまうこ 夫兄弟 兄公

こまうご 夫姉妹 女公又女妹

てまうご 手水

まうご 夫父之 舅

まうご 夫母之 姑

ひうが 玉之 日向

せうご 古せういへいふ せうご兄弟人あり 兄

せうご 今まうの完 せうご字音之 簫

すまものまじ 少納言

あやう 弱 危 今あやう 今あやう

いたう 痛

いさう ついぬる 急居

いさう 今いさう 今いさう 殖

同 今いさう 飢

まうご 今いさう 居

まうご 今いさう 周防

あやう 追難 今あやう

下(う) 上(ま) 中(ま)

ま 下にぶらがるやと添てひくのみまがらうごりてあべ
も 則さままよふまよふまよふ
おもひの頼く

上ま い外上中皆も

まうげ うらた委 詣

まうけ 同 儲

まうす をらた委 日

まうのげ を 参昇

まうちぎみ 大夫

まふ 舞

中ま

まふ まふ 辨

かへのま ま 賽

たまふ たまふ 賜

うやまふ 恭

のたまふ 古、告ことこのり
不告給あり 宣

おほい ま 大臣

おほい ま 参議

やまふ 病

ま ま 司格

こま ま 高麗

ま ま 相撲

同 住、ま、ま、ひ、ま、り
住居はま、ま、 住

ま ま 少納言

い 下にぶら下ると添ていくのみ
ま ま 下

あ 則 ま 下

上 い 外上中皆

上 下

よ 云

み みび。こもにまゐり則いまみせ
び いまびもまびーびおてみト
よむにあらび

下 **ひ**

いまびみ 不^す受^うく 辭

同 今^いの 播磨^{はりま}郡^{ぐん}之 印南

いさびみ 瘡^{かさ}おし 座

かまびみ 悲

たのび 樂

うらびみ 浮

くらび 苦

えらびみ 撰^{えん}撰^{せん}

藤^{ふじ}子^こを^をの^のう^うり^り玉^{たま}は
少^{すく}な^なと^とい^いる^る他^た字^じも^もの
ぬ^ぬも^もの^のを^をし^し世^せり
た^たら^らし^しは^はな^なま^まふ^ふか
ま^まも^もた^たは^はら^らあ^あま^まり
物^{もの}も^もと^とま^まえ^えら^らま^まら
か^かと^とま^まま^まら^らぬ^ぬら^らえ
那^な比^ひ人^{にん}の^のま^まあ^あら^らし^し次^じ
み^みも^もし^しも^もこ^ここ^こえ^えか^か蘇^そ
ぬ^ぬも^もわ^わら^らぬ^ぬたり
か^から^ら那^な世^{せい}の^のあ^あか^かま^ま
あ^あま^まり^りを^をら^らま^ま世^{せい}と
さ^さり^りの^のあ^あま^まら^らぬ^ぬの
か^から^らぬ^ぬら^らま^まら^らぬ^ぬ

多岐の宿心たれは
極不志のそふたきと
相授るる心ゆきれは
この道も初〜古に
う〜の安らきま
多末ら〜舟こらと
希〜此方

芳江堂主人識

この堂初〜
加筆致〜
古〜
母舌結〜
橋せ斜里たり

藤村全集 嗣出

天保二辛卯年晩夏發兌

京都

勝村治右衛門

大坂

秋田屋右左衛門

京都

上総屋利玄齋

京都

須永屋伊八

京都

須永屋源助



